

令和7年度 第2回富田林市金剛地区再生指針推進協議会 会議録

富田林市 まちづくり部 金剛地区再生室

日 時： 令和8年2月2日（月） 14時～16時

場 所： すばるホール4F会議室（旧秀月の間）

出席者：

【委員】：14名

中井 二郎（副会長）、友田 研也、新里 恵美、吉村 明、
小野 達也、廣崎 祥子、加茂 賢一、松本 新、市川 智久、
占部 訓司、大山 美里、岩田 佳余子、竹田 晃、森木 和幸

欠席者3名

増田 昇（会長）、溝口 俊則、那谷 千枝子

【事務局】：5名

〔富田林市 まちづくり部 金剛地区再生室〕

塚本 隆之（室長）、松本 憲昌（室長代理）、竹川 智也（主査）、盛田 大輝（係員）

〔特定非営利活動法人きんきうえぶ〕

寺田 誠（コンサルタント）

【会長が認める関係者（設置要綱第5条第4項）】：0名

開催形態： 公開（傍聴人：0名）

次 第：【1】開会

【2】案件

1. 金剛地区再生指針の取組について
 - （1）金剛地区まちづくり会議について
 - （2）各部会・プロジェクト等の取組について
 - （3）市が進める取組について

【3】その他

【4】閉会

議事録：全文筆記

【1】開会

(事務局：塚本)

- ・設置要綱第5条第2項により協議会が成立していることの報告
- ・設置要綱第4条第3項により副会長による議事進行となる報告
- ・議事進行にかかる留意事項等の確認
- ・資料の確認

【2】案件

(中井副会長)

本来の会長が議事進行をされますが、ご欠席ということで、代わりまして私の方で進行させていただきます。不慣れな進行でございますので皆さんご協力よろしく願いいたします。

それではまず案件の方になりますけれども、金剛地区再生指針の取組についてそれぞれご報告いただきまして、案件が一応終わりました後に、質問を受けさせていただきます。それではよろしく願いいたします。

(事務局：寺田)

資料1.(1) 金剛地区まちづくり会議について

(廣崎委員)

資料1.(2) -①わっく Café

(市川委員)

資料1.(2) -②金剛マルシェ

(友田委員)

資料1.(2) -③寺池公園等を活かしたまちづくりの会

(事務局：寺田)

資料1.(2) -④∞KONROOM

(中井副会長)

ご報告ありがとうございました。(1) 金剛地区まちづくり会議についてと(2) 各部会・プロジェクト等の取組についての報告が終わりました。ここでご意見があればお伺いしますけれども、(3) 市が進める取組についての報告もありますので、これを聞いてから一括でお伺いしようとおもいます。取り急ぎ今聞きたいことなどある方はいらっしゃいますか？

ないようですので、市から(3) 市が進める取組についてよろしく願いいたします。

(事務局：盛田)

資料1.(3) -①大学連携 (KLLP)

資料1.(3) -②金剛駅周辺のウォークブルな空間づくり

(事務局：竹川)

資料1.(3) - ③金剛中央公園の再整備について

(中井副会長)

ありがとうございました。案件の方の説明は終わりましたので、皆さんから質問、意見等をいただきたいですけれども、その前に私の方からですね、わっく café とか、いろいろ参画をしております、その中で先ほど市川委員からお話がありましたけども、銀座街広場の整備を UR さんがされておられます。これが整備されると、もう少し人通りが変わるだろうなと私は思っていますが、通りからは整備の状況が非常に見えにくい位置にありまして、整備の状況等について UR 加茂委員の方から、ご説明いただけますでしょうか。

(加茂委員)

先ほど市川委員からもご紹介いただいたところですが、銀座街商店街の広場の整備につきましては、昨年6月に工事を着工いたしまして、その後地域の皆様のご協力もありまして順調に工事が進んできているところでございます。新広場に関しては、今年9月中の完成を予定しております。10月にオープンを予定しております。その前に先ほどご紹介いただいたように、東側の店舗側については、4月に一部先行開放をしたいと考えております。10月になりましたらオープンを予定しておりますが、10月のオープンの際には、オープニングイベントといったような何かしらのイベントを開催する方向で社内検討しております。イベント開催に当たりましては、自治会様や商店会様に、担当の方から改めてご相談させていただきたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願いたします。

(中井副会長)

ありがとうございます。4月に一部オープンされたのちに、10月にはフルオープンと教えていただきました。それでは他に、ご質問、ご意見等はございませんでしょうか。

(占部委員)

なかなか出席できていなくて、申し訳ございません。本当に、皆さん素晴らしい活動をしていただいているのを聞くばかりです。私は金剛ショッピングモールの代表として出席してまして、あまり金剛ショッピングモールとしては活動がないですが、周りでこうやって活動してもらっていて本当に盛り上がっているなと思えました。ちょっと聞きたかったのですが、KLLP というのは LLP (有限責任事業組合) ではないですよね？

(事務局：塚本)

法人ではなく Living Lab (リビングラボ) の考え方で取り組んでいるものになります。

(占部委員)

わかりました。ありがとうございます。

(新里委員)

ピュア金剛の跡地のフルオープンされるのか10月っていうところで、その仕様はどんなものなのか、今後イベントをされた後、どんなふうに地域住民が活用できるのかとか、わかる範疇でいいので教えていただきたいです。

(加茂委員)

活用の方向につきましては、地域の皆さんに使っていただきたいという思いはありますが、使い方についてはこれから内部で検討しようとして動き始めているところですので、まとめ次第ご紹介させていただければと思っております。

(中井副会長)

他に何かございませんか。

(占部委員)

友田委員からいつも寺池での活動報告をいただいておりますが、僕も寺池台出身なので気になりながら頑張ってくれているなと思って、いつも聞いています。ソフトランディングみたいな話がありましたが、ずっとこういう話をしていて駐車場とかのいろいろなハード面はゆっくりとというような話もあったんですけども、そこは市としては予定とか全然ないのですか。やっぱりここでこういう話が出たら、そこで市としても前に進めてもらいたいというのがあります。大阪狭山市の狭山池なんかでも駐車場があるから、ずっと来場の入れ代わり立ち代わりがあり、駐車場があるからこそ、あそこに行ってランニングしようかと、止められなくてもどっか近くの有料駐車場でも止めようかっていうようなことでね、どんどん発展していったのかなというのを思います。何か少しでもハード面も進めてもらえたらいいのになと思いつながりながら聞いていました。進行がどうなのか、教示のほどお願いします。

(森木委員)

ご意見ありがとうございます。富田林市としましては令和4年に金剛地区施設等再整備基本構想を策定しています。その中で寺池公園は住民の方が主体で、いろんなことやっていただくというような位置付けをさせてもらっています。それでは市は何もしないのかということではなくて、先ほど友田委員がおっしゃったみたいに、できるだけ池が見えるような形でということもありましたので、木の伐採は費用をかけて実施していますけれども、実際にご要望があります駐車場やトイレにつきましては多額のお金が必要となりますことから、まだその方向で実施するというのは決まっていな状況でございます。ただ、皆様方のソフト的な活動をされているということは、市は十分認識しておりますので、それを引き続き進めていただければなと思っております。以上でございます。

(友田委員)

やはり地域で活動してくると、どこの地区もそうですが、どうしても行政に入ってもらわないとまらないようなことが出てくるんですよ。それに対してね、こういうニュータウン再生とかすると

多様な方々の意見があるので、我々がこうしたいっていうともう一方でこれは反対ですよというような意見もあるので、そういったものは地域がまとめていかないといけないんですけども、一定そういうのをまとめるというような形で提案をすれば、それを市が受けて計画をどういうふうにしたらいいか、と市の方で検討するというような制度を持たれているところは既にあるんですよ。だから地域の方できっちりとまとめた上で市に提案するという制度と、それに基づいて市がどれぐらい受けられるのか、どういうことができるのかっていうのをお答えするという制度。そういったものを持つことによって、地域と連携しながらまちづくりが徐々に進むという形ができるので、そういう制度の構成を検討してもらったら本当にありがたいと思います。

(占部委員)

本当に全く僕も同じように思っていて、今の住民主体というのは市はすこし逃げているのかなど。言い方悪いですけど。こうやって会議をずっとやっているけど結局会議ばかりやって進まない、ではなくて地域の声を代表して僕たちがここに参加しているわけです。ですから地域の主体ってこの場が地域主体なんです。だからこういう声が上がっているっていうのをやっぱり市長にも言ってもらって、もっと大きな声で僕たちは伝えたいなと思ってここに時間を使って来ているわけですから。URさんも目の前にあるじゃないですか。例えば寺池の前の団地の駐車場とかを有料化にして一般の人も停められるようにするとか、そういうのだったらみんなで連携取りましょうってわかるんですが。予算ももちろんあるのはわかるんですけど、行政の方でもちょっと力入れてもらいたいなと思いました。すみません。

(中井副会長)

ありがとうございます。寺池公園につきましては、私もいろいろやっている都合もありますが、今は友田委員が取り組んでおられますように、住民主体の部分をまず進めて、以前と比べるとはるかに水がよく見えるようになって、間伐もできて、明るくはなったと思っています。続いてハード面になるとなかなか難しい部分もあるので、その点は住民でこういうものが欲しいんだというプランを作って、市にぶつけるという形だと思います。

(新里委員)

実は私も家の草引きはしないけども、寺池公園の活動には参加しており、何年やったら方向性が見えるのか、もう本当に家族にもいつまで寺池のことやっているのと言われるぐらい。もう5年以上やっているんですね。やっぱり方向性を多少指し示してもらわないと、地域主体のやり方はわかりますが、私ももう堪忍袋の緒が切れそうで、今日はよくぞ言っていたなというふうに思っております。すみません、どんどん進めて欲しいと思います。

(吉村委員)

僕の問題意識で言います。金剛地区まちづくり会議で団体地域や住民団体を巻き込むということと、それから金剛地域全体と見たときに僕は高辺台の一番端っこに住んでいますので、ウォーカーブルも金剛駅周辺という限定つきなので、僕らから見たら金剛駅周辺というのは高齢者の方にとって

バスに乗っていくところになっているということなので、やっぱりもっと広い目で見て欲しいということはずっと思っております。それで実は僕らの方でも、金剛地区をアップダウンが激しいので、それを逆にプラスにしたいと、健康まちづくりということで考えたわけです。先ほど友田委員からの活動報告にもあったように、ウォーキングマップ作りました。この時の苦勞を言いますと、一生懸命作って、マップまで作っていただいて、これを地域の方に広げるときに自治会の方のところへ行って配布していただけないかとお願い行くのですが、自治会長に会うだけで3回4回5回行って、ようやく会えると。それもたいてい夕方しかおられませんので、暗くなってくる中の立ち話で配布してくださいと、そういう形でしか広められないということがありました。また残念ながら2年前は高辺台のある町は、ついに自治会長さんに会うことができなかつたんです。何回行っても留守でね。そういうので、そこでの交流とか情報提供とかできない状況があるので、友田委員からもありましたけれども、自治会とまちづくり会議とか我々の活動をつなぐようなシステムとありますかね、これもぜひ欲しいなど。今回も4小学校区合同防災訓練をやりましたけども、高辺台の方は独自にもやっておられたので、それについてはもう別だという形になって、我々まちづくり会議とは中々連絡も難しいということあります。システムとして毎回でなくてもいいんですけども、僕らが行ける時には自治会の会議に行けるとか、そういうふうなことを市の方からアナウンスしてほしい。住民の方、地域の方がどういうことを考えておられますかとか、どんなご要望ありますかとか、こういうことやりたいと思っておりますけどどうですか、というふうなことが話できるようになってきたら、例えば寺池の活動についても、高辺台の方でも認識していただけるし、寺池台の方と高辺台の方とを結ぶようなまちづくり、これも考えていけるんじゃないかなと思っておりますし、そういうふうな形で、住民の巻き込むシステムを整備して欲しいなとすごく思っています。やっぱり行ったらびっくりするのは、二丁目の自治会長さんが何を悩んでおられるかなとウォーキングマップをもっていったら、うちは高齢者の方が多く家に閉じこもっておられて、なかなかそういう難しいですという話があったりね。一方であそこは防災の時、独自に炊き出しをやっているという活動もあるわけですね。そういうのは僕たちには見えないし、要望を聞いたりいろいろご相談したり、考えていく機会も自治会との繋がりあれば、進めていけると思う。そしたらまちづくり全体にも関心持っていただけるということで、やっぱりまち全体を良くしていくということでいろんな意見がありますから、それが聞けるような仕組みをぜひ考えていただきたいなと強く思っています。

(中井副会長)

ありがとうございます。自治会とありますか地元の参画というのは、非常に難しくても私もいろんなところで見てきましたけども、行政側から声かけても出てこないんですよね。そのあたりどのようにして動かすかっていうのは、いろいろあると思うんですけども、小野委員何かありますか。

(小野委員)

今聞いていて思ったのが、やっぱり今までの積み重ねがすごくあったなっていうのが第1印象です。特に前半の各部会プロジェクトの5年とか7年とかやってきてこうなってきた。そのうえで出てきている意見ですよ。ここまでやってきたんだから、次の段階行きたいんだっていう話が今出てきているので、そういう仕組みがあればいいなっていうのは、先ほど吉村委員や友田委員からあ

りましたけど、その辺りの段階にそろそろ入ってきたなと思う。最初は活動を起こすっていう段階でそれを定着させようとしてきて、定着しかかってきているところで次の段階になってきた。もう少し具体的なサポートがいるのか、或いは自分たちでもう少しやっていくのか、その段階がきたので、今日のような話はまず出てきているんだっていうのは、最初の感想です。

その上で私は地域福祉を専門としていますが、地域福祉の場合には公的な支援が大前提になりますが、そこだけではやっぱりできない部分があって、そういうものをどうやって地域で工夫しますかっていうところから始まっていきます。最近のご時世ではむしろそういう地域にある力をどうやって掘り起こすんだっていうことに関して、力が入ってきているんですよね。行政にどこまで頼めるのかなってのが、なかなかわからないみたいなのも含めてなんですけどね。だからそのあたりで行政ができることと地域ができることをもう少しオープンに話し合っ、行政の方もそこはもう無理なんだったら、もうちょっと明確にしてもいいと思うし、こういう条件になったらこういうところはいけますよっていうあたりは、それぞれが出し合う段階になってきているのかなと聞きながら思っていました。お金があって資源があればもちろん作ってもらうに越したことはないと思いますけど、なんで、どういうふうなあたりにバリアがあるのかっていうのは、逆に行政の方も住民と一緒にやっていくにあたり、行政だけが情報持っているのではなくて少しそのあたりを一緒に考えましょうよっていう段階になったんだなと思っています。こうすればブレイクスルーするってのはあるわけではないですけど、今の聞いていると、やっぱり情報交換はすごく重要なんだなってのは思いました。私が勉強させてもらった話でいうと、地域福祉はどちらかというタダでやらなくては、という頭からまず入ってしまうので、もう少しそのあたりも行政とどうやっていくかっていう段階をしっかりと作るべきだなと。

また今日のわっく café の話の中であった見学会について、前回増田委員長から有料でやったらいいじゃないっていう意見が出ていました。そのあたりを皆さんがどう考えていくのか、サステイナブルな活動をどう作るかっていう段階ですけど、有料化の問題と、公的なお金の問題と、自分たちでやる問題のバランスをどう作るか、今後のやり方が、ますます問われているなと思いました。以上です。

(占部委員)

いろいろ、僕も言ってしまうすみません。さっきの吉村委員の意見で、ウォーキングマップをどうしたら町会長が配ってくれるのかなって考えたんですけど、やっぱり広報しかないと思うんですよね。広報に各地域の分を全部入れるのは無理なんで、今回は高辺台と、今回は寺池台、今回は藤沢台、みたいに順番にページ割り当てたり、出したいところは順番に出せるとか、市としてもやれる仕組みってあると思うんですよね。実は正直言うと市のウェブサイトも、僕らのところにも自動では来るんですけどそんなに見てないので。だから字だけではなかなか中を開けてまで見てくれないうところであるので、広報がいいのかなと思いました。さっき言っていた住民主体って何かと思ったときに住民の理解だと思うので、さっきの話でいうと理解してもらうには広報でみんながどういう活動やっているっていうのは大事だと思う。ここでこんなやっていることを皆知らないんですよ。だからやっぱり知ってもらうということからだろうなと。そして小野委員がおっしゃっていたような福祉の話の中で、例えば障がい者が寺池公園にどうやっていくのかとか、車椅

子を入れるのかなとか、いろんなことを考えていたんですが、そういう福祉のことも考えたらハード面も必要になってくるということも出てくるんだろうなと思いました。

(中井副会長)

ありがとうございます。防災に関しては自主防災会とか、防犯に関しては警察署を通して自治会が参画するような組織ができていますが、まちづくりに関しては残念ながらそういう組織がないんです。どこの自治体でもそれを作っているところがほとんどないですが、この場合はまちづくり会議がありますから、そこに先ほど友田委員の意見であったように自治会を取り込んでいくか。また校区交流会議には一応自治会が参加するようになっているんです。ところがやっぱり自治会の人たちはあまり参加しないんですね。その辺は自治会の方の問題もあるんですけども、そのあたりは住民の意識を広報などで高めていくという方法を取らざるを得ないのではないかと、私はとしては思っています。他何かご意見ありますでしょうか。

(友田委員)

私ももう次の段階に来ているかなと思っていて、この216ヘクタールのニュータウンを再生するっていうのはすごく大変なことで、今までニュータウン再生でいろいろやってきた泉北であったり千里ニュータウンであったりは、ある程度公共が大分絡んでいるんですよ。そういったところでやっと出来てきただけの話であって、こうやって住民だけでやっていくっていうのは本当にここが初めてぐらいです。金剛ニュータウンっていうとUR団地の中でも関西で一番大きいぐらいの規模になっているんですよ。そこを再生しようとしていて今住民主体という形で進めてきて、やはり住民だけではできない部分っていうのがあるんですよ。そういったことが明らかになった時に、それについてどういうふうに対応するんだということで、今ここでいろんな意見が出たじゃないですか。ここで出た意見をやっぱり聞きっ放しにするのではなく、それをどういうふうに対応するんだっていうのを市は持ち帰ってもらって、検討していただきたいんですよ。ここでそれを検討して回答したことが全然ないですよ。やっぱりそこについてはこれだけ今意見が出たんですから市の方で検討して、今後どうするんだということについて、もう一度きちんと回答してくれるというようなキャッチボールしながら、ニュータウン再生を住民と行政で連携してどういうふうに進めるかっていうのを、一歩ずつでも進めるようにしていただきたいなというふうに思います。

(新里委員)

金剛地区再生指針を推進するこの会議に、町会・町総代会のなかから全く委員がいないんですね。URの自治会の代表としては溝口委員が入られていますけども、町会・町総代会に関しては、ここには一切入ってないので、検討の余地はあるのでしょうか。

(事務局：塚本)

この協議会の委員構成は要綱を見ていただいた通り、基本的には町総代は入っていません。地縁型のコミュニティとか、テーマ型のコミュニティはいろんなパターンはありますが、私たちも自治会の方やいろいろな方に情報が届いて周知をしたいという思いは一緒ですけれども、現状今の段

階で、この委員構成を変更する予定はないです。ただ一方で、∞KONROOMの方で金剛に関する情報誌を作ったり、金剛についてまとめたサイトを作ったりしていますので、そういったものなど通じて、まずは目にしないことには始まらないと思いますので、なるべく自治会の方々やまちづくりのことに関心がない方に対して、情報が伝わっていく手段については今後も∞KONROOMも含めて、相談をしていきたいなとは思っています。

(新里委員)

私たちが選ばれている市民の枠っていうのが、すごく偏っているんですね。ここにいるのは同士です。そんなのではなくて、やはり金剛地区の町総代の代表的なような人を入れるべきじゃないかなっていうふうには思います。

(中井副会長)

この市民の委員の選び方は、皆さんもご存知の通りですが、指針を作るときに手挙げて最初参画したんですね。それをそのまま引きずった形で委員が組織されていまして、そういう意味では自治会の代表とかではなく、地元の中でまちづくり興味のある人が参加したという形で今まで進んできている。

(友田委員)

一番最初、ここの委員になるためには3段階ありますよって言われました。まず自治会の方からの推薦があり、次は4ブロックとかのなかから代表の選出、次に全体の中から選出、という3ステップぐらいのステップを踏んで決まったと思います。

(中井副会長)

一番最初の再生指針の策定委員会、あの時は手挙げから始まったでしょう。それからこの協議会の委員に移るときには友田委員のいう手続きあったかもわかりませんが。改定もあるので簡単にはいかないと思いますが、委員に参画させるかどうかは別にしまして、ご検討お願いします。

(事務局：塚本)

ご意見としては頂戴いたします。ただ一方で町総代会のいろんな審議会への参画については、基本的には充て職的な形での依頼は一部残っている審議会もありますが、市としてはあまり依頼をしていないです。市の方針も踏まえながら、今後どういう形がいいのかというのは考えていきたいと思えます。

(占部委員)

町総代会だけじゃなくて、例えば、この地域の議員さんたちとの意見交換とかですね、そういうのをここでやってもらうと。やっぱり予算も賛成するのはあの人たちだし、我々は市民の代表として来ているわけですから、そういう人たちにも来てもらったらいんじゃないかと思えますけど、どうでしょうか。

(中井副会長)

この指針推進協議会では要綱の1号から7号までに記載の委員で構成されているものなので、別途、議員さんと意見交換の場があればという意見ですね。

他に南海電気鉄道の松本委員から話題提供はありますか。

(松本委員)

今金剛駅は、昨年度末に富田林市さんも入って検討報告書を出させていただいている通り、金剛駅前のまちづくりについては検討しておりますので、またご報告できる段階になりましたら、皆さんの方にご報告でさせていただけたらと思います。

(中井副会長)

ありがとうございます。

大阪府から出席している竹田委員、全体を通して何かご意見ありますか。

(竹田委員)

全国でもニュータウンの再生という動きを始めようということで、東京都は多摩ニュータウンについて、いろいろ検討されています。ただ金剛で検討されているものよりももっと漠然としており、金剛は進んでいるというイメージがあります。というのも地元で地元の人たちがいろんな課題に対して、かなり熱心に動かれているという段階になっている。全国の他所でいろいろこれから始めようというのは、近隣センターが古くなっているから建て替えをどうしようかとか、近隣センターの土地がいろんな地権者がいて全く動きません、といったようなまだ入口に立ったという段階です。そういう意味では地域の課題を解決するために、皆さんが動かれているっていうのはかなり進んでいるエリアになっていると思います。制度的な動きで、地方自治体が国費を利用できる制度を国が設けた場合は、私どもも情報提供させていただいて、市と協議させていただきながら進めていけたらと思います。

(中井副会長)

ありがとうございます。今まで福祉の話は少なかったんですけども、話の中で福祉の視点で欠けているような視点がありましたら、大山委員ご意見お願いします。

(大山委員)

福祉の観点から言うと、福祉のまちづくりの部分では、それぞれの校区で校区交流会議を開催させていただいています。その中には市民の中から民生委員さんや、福祉委員さんや、寺池台であれば友田委員も参画いただいたりしています。福祉的な目線から地域の課題に対して、よりよい地域にするにはどういうふうにしていったらいいかな、という理想を皆さんで話し合っって地域を活性化していこうという動きにあるんですけども、先ほどご意見の中でよく出ていた、町総代会や町会との兼ね合いっていうのは、この校区交流会議においても同じような課題はよく出ているんですね。

そんな中で校区交流会議では、町総代会・町会向けの説明会とかっていうのは開かせていただいております。町総代がずっと歴代同じ方がされていらっしゃると、話がつきやすいところはあるんですけども、最近は輪番制が結構多いので年度が変わったタイミングで、町会向けに今の説明とかっていうのをしていただけたら、こちらとしてもお話としては上げられるかなというふうに思っております。

福祉的な観点でいうと、高齢分野であったり子育て分野であったり障がい分野であったりっていうところを、すべて混ぜて地域としては考えていった方がいいですよってというのが、最近言われているようになってきています。このまちづくりで取り組んでいただいているような居場所づくりであったりというの、福祉的な目線では必要になってくると思っていますので、私たちの社会福祉協議会の方でも、金剛でこういった動きもあるってということについては、市域に広めさせていただけたらいいのかなというふうに感じています。

(中井副会長)

ありがとうございます。同じような観点でも構いませんが、岩田委員は何かございますか

(岩田委員)

私が担当させていただいているのは高齢者部門になりますので、虹いろサロンやわっく café 等、まちづくりで高齢者の方の居場所を作っていただいていると本当にありがたいと思います。ただやっぱり離れたところからくる高齢者の方っていらっしゃるんですよ。そうなってくると、駐車場について聞かれることが多くて、金剛連絡所にも駐車場はあるんですけど、あそこも選挙の期日前投票とかになってくるといっぱいになったりとかして、停めるところがないってような相談を受けたりとかもしますので、他の地区から来られる高齢者も来やすいように、安くで借りられる駐車場の整備も必要なんじゃないかなと思いました。

(中井副会長)

ありがとうございます。時間がもう参りましたので、意見交換をこのあたりにさせていただきたいですが、吉村委員挙手されていますので一言だけどうぞ。

(吉村委員)

この会議に町総代が入るべき場とまでとは言いませんが、寺池のプレーパークに高辺台の方に行ってもらっては周知ができないので大変なんです。きっちりと、自治会長さんに話さないといけないがそれをする場がない。今高辺台の方でプレーパークができないとかね、そういうことも実は話してしまして、その時には高辺台の自治会長に今度しますから、という説明する場は欲しいんですが、防災のようにはっきりとした課題がある場合はいいんですが、自治会の場に僕らが行くというのはかなり行きにくい。でするのでそういう場を作っていただくだけでも、情報提供することができるのでそういうのが欲しいなっていうのが、これが一番思っていることなので、よろしく願います。

(中井副会長)

ありがとうございます。寺池台1丁目の場合は、友田委員に来てもらって寺池等を活かしたまちづくりの会の説明をしてもらっています。それから町会の中の役員の中で興味があればそういうふうに招待するような形で呼べば意見交換できるのかなとは思いますが。これは各町会長との接続のあり方だと思うので、頑張ってもらいたいというふうに思います。

時間が来ましたので、これで意見交換を終わらせていただきます。それでは以降について、事務局からお願いします。

(事務局：塚本)

今日は金剛地区の再生・活性化に向けまして活発なご議論、ご助言、ありがとうございました。また、中井副会長におかれましては円滑な議事進行を本当にありがとうございました。

今後のスケジュールですが、今年度はこれをもって会議は終了になります。皆様の任期が6月1日までとなっていますので、改めて委員の委嘱の手続き等もさせていただき、次年度の協議会を開催させていただきます。本日の会議はこれにて終了させていただきたいと思っております。本日はどうもありがとうございました。